

連合宮城

『第19回定期大会』を開催！



連合宮城は2025年10月28日の仙台市において、『連合宮城第19回定期大会』を開催した。本大会には、役員・代議員・来賓など208名が参加し、議長団には照井一茂代議員（U A ゼンセン）、仁科智文代議員（自動車総連）が選出され、第1号議案から第9号議案まで（第10号議案「その他」はなし）すべての議案が可決・承認された。

執行部を代表し大黒会長は、「今、AI活用で私たちの働き方が大きく変わっているが、人が人らしく働ける環境を守っていかなければならない。物価高、人口減少、働き方改革と課題は山積みだが、連合宮城は政策提言を続けてきた。震災から来年で15年、教訓を未来に伝えていくことが大切だ。第19期にあたり、①組織強化で10万人超えをめざす、②2026 春闘で実質賃金の持続的上昇の実現、③政治活動で地域の課題に積極的に対話を重ねていく、の3点に力を入れ、言葉と行動で労働組合が仲間とともに未来を信じて進んでいこう」と述べた。

議案では、第1号議案「2025春季生活闘争のまとめ(案)について」、第2号議案「第27回参議院議員選挙取り組みのまとめ(案)について」、第3号議案「2026-2027年度運動方針(案)について」、第6号議案「2026年度会計予算(案)について」、第7号議案「連合宮城役員の選出(案)について」などが提案された。

第3号議案の向こう2年間の運動方針では、重点分野として①すべての働く仲間をまもり、つなぐために、組織拡大・強化を最重点取り組みと位置づけ、集团的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動の推進、②安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動の推進、③ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現の3点、推進分野としては①社会連帯を通じた平和、人権、社会貢献への取り組みと次世代への継承、②健全な議会制民主主義と政策実現に向けた政治活動の推進、③ディーセント・ワークの実現に向けた国際労働運動の推進、④連合と関係する組織との相乗効果を発揮し得る人財の確保・育成と労働教育の推進の4点として運動を刷新し取り組みを進めていくことが確認され、石巻地協の加藤特別代議員からのカスタマーハラスメントに関する要望も含め、全議案が承認された。

また、新役員体制では、大黒雅弘会長（U A ゼンセン）が引き続き承認されるとともに、菊池一磨さん（情報労連）が事務局長に昇任、新たに下遠滋彦さん（自治労）が専従となり活動を進めていくこととなった。

向こう2年間よろしくお願いいたします。

「連合宮城第19回定期大会」スナップ



議長団の照井代議員(左)、仁科代議員(右)



富田連合本部副事務局長(来賓あいさつ)



小林宮城県副知事(来賓あいさつ)



藤本仙台市副市長(来賓あいさつ)



鎌田さゆり立憲民主党宮城県連副代表(来賓あいさつ)



吉川ひろやす宮城県民社協会会長(来賓あいさつ)



退任あいさつをする杉山前副会長



退任あいさつをする佐竹前事務局長



退任あいさつをする岸前副事務局長



連合宮城 新役員体制

連合宮城 第19期(2026-2027) 役員体制(四役)	会長(専従)	大 黒 雅 弘	UAゼンセン	副会長	鈴 木 謙 一	電力総連	 下遠副事務局長(新)
	副会長	新 山 齊	UAゼンセン	副会長	小田嶋 亮	情報労連	
	副会長	新 貝 健 太	自動車総連	事務局長(専従)	菊 池 一 磨	情報労連	
	副会長	北 館 和 彦	自治労	副事務局長(専従)	下 遠 滋 彦	自治労	
	副会長	鈴 木 伸	J P 労組	副事務局長(専従)	阿 部 祥 大	電力総連	

宮城県の地域別最低賃金は2025年10月4日より次のとおり改訂されます。

1時間あたり65円引き上げられ **1,038** 円(時給)

さらに、深夜の時間帯(午後10時～午前5時)に勤務した場合は25%が加算され、1時間あたり **1,298** 円(時給)

最低賃金は、働くすべての人に賃金の最低額を補償する制度です。年齢やパート・学生アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、すべての労働者が適用となります。



核兵器はいらない。

核兵器廃絶
1000万署名

No More HIROSHIMA! No More NAGASAKI! No More HIRAKUSHI!

連合
 原水禁
 KAKKIN

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



署名はここから